

# さといも

## ここが魅力

- ・ 輪作や畦間かん水ができる水田での栽培に適した品目。
- ・ 定植機や掘取機などの活用で、作業の省力化が可能。
- ・ 収穫後、貯蔵し、冬期間の労力を活用した出荷が可能。

### <参考>

単収（目標）：1.7t/10a

価格（目安）：280円/kg



さといも畦立て同時マルチ定植機

## 作 型

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
石川早生 ▲ ▲					収穫						
大和 ▲ 植付 ▲						収穫		貯蔵出荷			

## 栽培方法

### 品 種

石川早生（8月下旬～9月下旬どり）

大和（10～11月どり）

### 栽植密度

【石川早生】畦幅150cm、株間25～30cm、2条植え、4,400～5,300株/10a

【大 和】畦幅120～130cm、株間25～30cm、1条植え、2,700～3,000株/10a

### 施 肥

【石川早生】基肥：窒素を成分で8kg/10a、リン酸、加里を成分で12kg/10a

【大 和】基肥：窒素、リン酸、加里の各成分で18～20kg/10a

追肥：7月中旬～8月上旬に加里を成分で20kg/10a

### 発生しやすい病害虫

乾腐病（8～10月、土壌伝染・種芋伝染する。）

アブラムシ（7～9月）、ハダニ（7～9月）、ハスモンヨトウ（8～10月）

### 栽培のポイント

- ・ 毎年、形のよい芋を着生する優良な株を選抜し、種芋とする。
- ・ 種芋の選別を徹底し、乾腐病に罹病している種芋は使用しない。
- ・ 連作しない（1度栽培したほ場では、4年以上作付しない）。
- ・ 晴天が続き、ほ場が乾燥すれば、畦間かん水を行う。